

# 必要とされれば

## どこへでも行く

国連NGO  
AMDA代表理事

菅沼 茂



AMDA（アムダ）は岡山に本部があり、世界の25ヶ国に支部がある国連NGOです。AMDAは多宗教、多民族、多文化という多様性が特徴です。「必要とされればどこへでも行く」。これが究極の一言です。

私たちは次のような「人道援助の三原則」をもっています。一つ目は、「誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある」。二つ目は「この気持ちの前には国境、民族、文化、宗教等の壁はない」。三つ目は「援助を受ける側にもプライドがあ

る」ということです。

セルビア人とアルバニア人の紛争がセルビアのコソボ州で激しくなってきました。そして多くのアルバニア人難民が国境を越えて隣国のアルバニアに逃げてきました。AMDA日本はアルバニアとコソボ州に医療チームを送りました。その活動の最中の一九九九年にトルコで大地震が起りました。早速AMDA日本は医療チームを送りました。驚いたことに、設立されたばかりのAMDAアルバニア支部とコソボ支部が医療チームの派遣を申し出たのです。同時にNATO軍によって空爆されたセルビアの首都ベオグラードにはたくさんセルビア人難民がコソボ州から避難していました。AMDA本部の呼びかけに対してボスニアヘルツゴビナにある一九九七

年に設立されたAMDAセルビア共和国支部が医療チームの派遣を申し出たのです。

AMDAはアルバニア、セルビアのコソボ州と首都ベオグラードそしてトルコの4ヶ所で医療活動を実施したわけです。セルビア人とアルバニア人の敵対している両グループが、同じAMDAの旗の下で、それぞれが人道援助活動を行うという信じられない状況が起こったわけです。

現在、南部アフリカのモザンビークは大洪水に襲われています。AMDA日本の医療チームに続いて、世界の最貧国といわれているAMDAザンビアの医療チームが救済活動に参加しています。

